



Recirculating Chiller F-305 / F-308 / F-314 高効率の冷却

Recirculating Chiller F-305 / F-308 / F-314 (低温循環水槽) は、ラボ用の装置であるロータリーエバポレーター、多検体エバポレーター、ケルダール製品、抽出製品などとの連携に特化してデザインされています。Rotavapor® R-300 (ロータリーエバポレーター) システムと併用することにより、集中制御 (温度設定)、省エネのエコモード、自動開始/停止などの便利な機能を使用することができます。

高効率

すべてのパラメーターの自動調整
機能による操作条件の最適化

環境保全

水道水の消費を抑え、
エネルギーを節約



拡張性

プラグアンドプレイでRotavapor® R-300
(ロータリーエバポレーター) システムと簡単接続



Recirculating Chiller F-305 / F-308 / F-314 (低温循環水槽)

主な特徴およびメリット





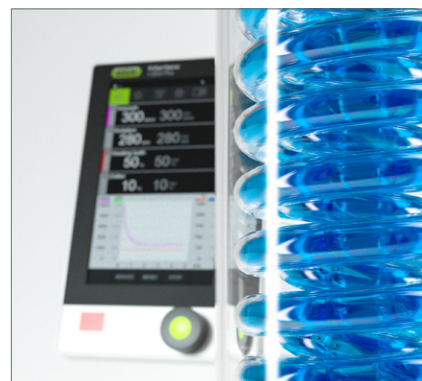
簡単な接続

Rotavapor® R-300 (ロータリーエバポレーター) システムとの接続により簡単に温度設定でき、その温度に制御します。



ナビゲーション

低温循環水槽、またはInterface I-300 / I-300 Pro (インターフェース) 上で簡単に冷却温度を設定できます。



冷却の最適化

Rotavapor® R-300 (ロータリーエバポレーター) システムとの連携により、加熱温度および冷却温度とともに真空度を自動的に制御し、蒸留条件を最適化します。



温度ロック

ダイヤルを押すことによって設定温度をロックし、意図しない変更を防止します。



エコモード

エコモードとインターフェースの連携により、使用しないときには待機モードに移行して、エネルギーを節約し熱の放出を抑えます。



水道水の消費量の削減

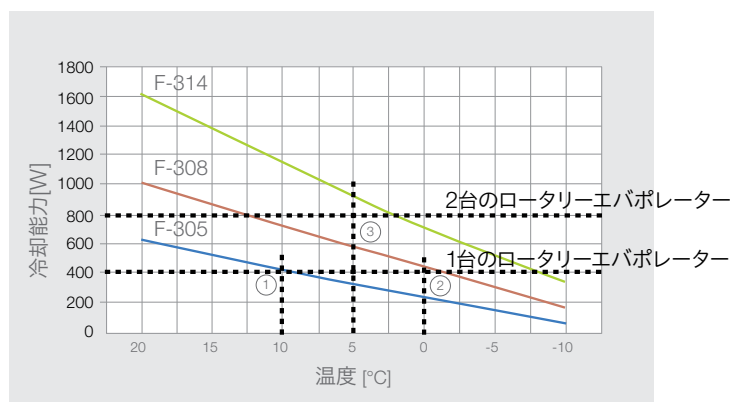
一般的に、ロータリーエバポレーターは、毎時40リットルの水を消費します。低温循環水槽を使用することにより、この貴重な水資源を節約します。

低温循環水槽の性能

右図を参考に、使用するアプリケーションに適した低温循環水槽を選択してください。

例：1台のロータリーエバポレーターによる蒸留には約400Wの電力が必要です。

- ① 10 °Cでの1台のロータリーエバポレーターによる蒸留 ▶ F-305
- ② 0 °Cでの1台のロータリーエバポレーターによる蒸留 ▶ F-308
- ③ 5 °Cでの2台のロータリーエバポレーターによる蒸留 ▶ F-314



F-305 / F-308 / F-314: ひと目でわかる特長



高効率

- ・ BUCHI製ロータリーエバポレーターシステムとの使用による高効率の蒸留
- ・ Rotavapor R-300 (ロータリーエバポレーター) システムでの自動的かつ動的な圧力制御により、ヒータリングバスおよび低温循環水槽が設定温度に達するの待たずに、すぐに蒸留を開始でき時間を節約可能



環境の保護

- ・ エコモード: 使用しないときには待機モードに移行し、エネルギーを節約し、熱の放出を抑制
- ・ 水道水の代替使用により水の消費を抑制。
- ・ Interface I-300 / I-300 Pro (インターフェース) を使用して、すべてのパラメーターを集中制御することにより蒸留作業を最適化



双方向通信

- ・ 下記製品とのプラグアンドプレイによる簡単な接続
 - ・ すべてのパラメーターを含む完全な自動BUCHI Rotavapor® R-300 (ロータリーエバポレーター) システム
 - ・ BUCHI製抽出およびケルダールソリューション

あわせてご使用ください



Rotavapor®
R-300
操作性に優れた
高効率



Multivapor™
P-6 / P-12
複数のサンプルを効率的
に蒸留



Extraction Systems
B-811 / B-811 LSV
万能抽出装置



KjelMaster System
K-375 / K-376 / K-377
水蒸気蒸留・滴定・
自動サンプリング装置

